

行歯会だより 第174号

(行歯会＝全国行政歯科技術職連絡会) 令和4年8月号



1 シリーズ 歯科医師保健所長に聞く！ (第4回／全5回)

岩手県 二戸保健所 所長 森谷 俊樹

2 千葉県内の特定健診・特定保健指導の標準的な質問票に係る歯科受診の動向

千葉県衛生研究所 健康疫学研究室 主幹 吉森 和宏

3 都道府県世話役のつぶやき

栃木県 栃木県立衛生福祉大学校 歯科技術学部長
兼 健康増進課 課長補佐 中山 竜司

1 シリーズ 歯科医師保健所長に聞く！ (第4回)

岩手県二戸保健所 所長 森谷 俊樹

行歯会の皆様、ご無沙汰しております。岩手県の森谷です。

平成31年度から2年間、宮古保健所長を務めた後、令和3年度から二戸保健所長を務めています。

今回の「シリーズ 歯科医師保健所長に聞く！」の原稿依頼がありましたので、簡単ですが寄稿させていただきます。

○保健所長になった経緯

全国の自治体の共通課題である公衆衛生医師の成り手不足によるものです。

岩手県は、県の保健所が9か所（県央、中部、奥州、一関、大船渡、釜石、宮古、久慈、二戸）、中核市の保健所が1か所（盛岡市）あります。公衆衛生医師の不足により、奥州と一関の兼務、大船渡と釜石の兼務、久慈と二戸の兼務という状態が以前から続いていました。県央と宮古も兼務にせざるを得ないような状況になりそうだったため、平成30年度に私が国立保健医療科学院の研修を受けることになり、平成31年度から保健所長になったしだいです。

保健所長になることがあっても、10年くらい先のことだと思っていましたので、大変驚きました。それだけ公衆衛生医師が不足していて、どうしようもない状況ということでした。

○保健所長になるまでの業務内容

平成16年度に岩手県庁に入庁してから平成31年度に保健所長になるまでの間に、県庁で11年間、保健所で4年間従事しました。県庁では、主に歯科保健、健康づくり等の保健分野の業務を、また保健所では、感染症、医療監視、災害医療、企画管理等の業務を担当しました。



それから東日本大震災や平成 23 年台風豪雨災害では、災害歯科医療活動のコーディネートを行い、胆振東部地震では安平町に派遣してもらい、岩手県が担当する避難所支援の総括、岩手県から派遣された職員の健康管理等の管理業務を担わせてもらいました。

感染症や災害医療等の危機管理は、保健所長に最も必要とされている業務なので、保健所長になる前に貴重な経験を積ませてもらったと思っています。

○保健所長の業務（これまでの業務内容との違い）

各種業務のプレイヤーではなく、業務全般についてのマネジメントを行います。ただ、マネジメントと言っても、自治体によって内容には大きな違いがあるようです。組織のトップとして人事権を持ち、職員の人事評価、事業の進捗管理等を含めたマネジメントを想像されるかもしれませんが、岩手県の場合は、保健所と福祉事務所と一体となった保健福祉環境部（又は保健福祉環境センター）の組織形態のため、人事に関することは同部・センターの長が行います。保健所長は、保健、医療、危機管理（災害、感染症、食中毒等）のマネジメントと環境衛生を含めた保健所事業全般への専門的助言を行います。物足りなさを感じる保健所長もいるようですが、個人的には人事に関する業務がなくて気持ちが大変楽ですし、専門性の高い業務に注力できますので、自分に合っている職種だと思っています。

○保健所長に必要なこと

危機管理時にリーダーシップを発揮すること、専門的な助言ができるように常日頃から保健医療に関する最新の情報を把握しておくことを心掛けています。このことは保健所長になる前から実践してきたつもりです。保健所長になってからは、新たに職員（特に保健師、栄養士）の人材育成に努めています。

災害や感染症のような危機管理では、スピード感を持って対応策の検討、関係機関との調整を図っていくのですが、保健所職員（特に保健師）に仕事を任せることが、人材育成の観点から重要だと今回の新型コロナウイルス感染症への対応で認識させられました。宮古保健所長の時には、新型コロナウイルス感染症に関する資料を自分で作成し、会議では自ら説明したりもしていましたが、二戸保健所長になってからは職員に指導をしながら資料を作成してもらい、会議での説明もしてもらっています。大学で学生の指導をしていた時と同様、職員の指導も大変です。日々、悩みながら指導をしています。

最後になりますが、これから多くの自治体で保健所長になる歯科医師が出てくることを期待しています。

2 千葉県内の特定健診・特定保健指導の標準的な質問票に係る歯科受診の動向

千葉県衛生研究所 健康疫学研究室 主幹 吉森 和宏

行歯会の皆様には、いつも貴重な情報をいただきましてありがとうございます。

私は、令和 3 年 4 月から千葉県衛生研究所で勤務し、健康疫学に関する調査研究や研修等に取り組んでいます。

皆様には、令和 3 年度の研究課題「千葉県内の特定健診・特定保健指導の標準的な質問票に係る歯科受診の動向」の成果をお伝えします。研究課題とは、衛生研究所の研究活動について広く県民の理解を得るとともに、効率的・効果的な試験研究の実施及び研究体制の整備促進を図ることを目的にしています。



1 研究目的

特定健診・特定保健指導では、平成 30 年度から「標準的な質問票」に咀嚼の質問が組み込まれました。そして、かみにくいと回答した人に、歯科医療機関への受診勧奨を行うことになりました。このような状況から、特定健診・特定保健指導において、かみにくいと回答した人が歯科へ受診する環境づくりを研究目的としました。

2 研究方法及び結果

(1) 市町村に対するアンケート調査の実施

①方法

令和 3 年 9 月、電子メールを用いて、千葉県内の全市町村国保（54 市町村国保）に調査票を送付・回収を行いました。調査票の主な項目は、歯科受診勧奨の実施の有無、実施しない理由等でした。

②結果

「実施していない」と回答した市町村国保（以下、「未実施市町村」とする。）数は 48、「実施している」と回答した市町村国保（以下、「実施市町村」とする。）数は 6 でした。未実施市町村のうち、実施予定の市町村数は 4 でした。実施予定がない市町村数 44 の実施しない理由は、「歯科受診勧奨を担当できる職員がいない」と回答した市町村数が最も多く 21、「地元の歯科医師会と調整がついていない」が 17 でした。

(2) 歯科受診の勧奨の有無が、翌年度の特定健診の健診結果等に影響を及ぼしているかどうかの把握

①方法

質問票「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか」の年度・年齢階級・性別回答状況、肥満非該当・該当の年度・年齢階級・性別状況を実施市町村、未実施市町村にわけて、 χ^2 検定で分析を行いました。 χ^2 検定は、表計算ソフト Excel2016（マイクロソフト社）を使用し、統計学的有意水準は 5%未満としました。

②結果

質問票「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか」の年度・年齢階級・性別回答状況ですが、男性では、何でもかめるの回答率が平成 30 年度に有意差が認められませんでした。令和元年度に 65 歳以上で何でもかめるの回答率が実施市町村で有意に高くなりました。

肥満非該当・該当の年度・年齢階級・性別状況では、男性では、肥満該当率が平成 30 年度の 65 歳以上に対して、令和元年度に 70 歳以上で実施市町村において有意に高かったです。女性では、肥満該当率が平成 30 年度の 50～54 歳に対して、令和元年度に 40～44 歳、60～69 歳で実施市町村において有意に低かったです。

3 結論

実施市町村を増やすために、①県や県歯科医師会等が歯科受診の勧奨を説明できる職員を養成すること。②地元の歯科医師会等が歯科受診勧奨者の受入体制を整備することが必要であると考えております。

また、歯科受診勧奨を実施した市町村では、男性の「食事をかんで食べる時の状態」や男性・女性の肥満の改善の可能性が示唆されました。

なお、本研究の論文は、現在査読中で、令和 5 年 2 月ごろに「千葉県衛生研究所年報第 70 号」に掲載する予定です。

4 本年度の研究

本年度の研究課題は、千葉県内の特定健診の結果から、肥満、糖尿病等と咀嚼習慣等の関係を明らかにして、特定保健指導に活用できる情報を提供することを目的とした「肥満、糖尿病等と咀嚼習慣等の関係について」です。機会をいただければ研究結果を皆様にお伝えしていきます。

5 謝辞

市町村に対するアンケート調査の実施にあたり、国立保健医療科学院の安藤氏、栄町の黒田氏をはじめ多くの行歯会の皆様からアドバイスをいただいたことに深くお礼申し上げます。

6 最後に

全国の多くの方々の知恵と労力の結集で、咀嚼の質問が平成 30 年度に「標準的な質問票」に組み込まれました。この制度の普及に皆様と一緒に全力を捧げたいと考えております。

(参考)

2018 年度に公益社団法人日本歯科医師会が作成の以下の資料は、日本歯科医師会 HP (<https://www.jda.or.jp/metabolic/>) より参照できます。

- ・リーフレット「歯科」からのメタボ対策
- ・リーフレット「歯科」からのメタボ対策指導者向け解説資料

また、市町村に対するアンケート調査の結果は、千葉県衛生研究所 HP (<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/eiseikenkyuu/kenkouekigaku/documents/2021shikatokuteireport.pdf>) より参照できます。

3 世話役のつぶやき

●●●●●●●●●● 栃木県 ●●●●●●●●●●

栃木県立衛生福祉大学校 歯科技術学部長 兼健康増進課 課長補佐 中山竜司

行歯会の皆様には、いつも貴重な情報をいただき誠にありがとうございます。

栃木県で世話役を担当している中山と申します。

現在、公立の専門学校を取り巻く環境は非常に厳しく、歯科技工士養成校は全国に本校と岐阜県立衛生専門学校さんの 2 校のみ、歯科衛生士養成校は本校を含め、7 校という状況です。折角の機会ですので本校の URL を添付します。もし、お時間がございましたら、ご覧下さい。

<https://tochigi-eifukudai.ac.jp>

さて、私が勤務している衛生福祉大学校は、現在、以下の課題に取り組んでおります。

<学修について>

人口が減少しているにも関わらず大学進学率は 54.9%となっており、このような状況で学生を確保することは簡単ではありません。また、学修習慣のない学生も入学してきますので、暗記ではなく、理解する、自分で考えることを身に付けられるよう指導に四苦八苦しています。私自身、日々、反省と教えていただく日々です。

<学生募集について>

設備整備の更新、魅力的な授業実習、確かな国家試験合格率、就職実績がないと、学生、保護者の視点からは魅力的な学校とは写りません。しかしながら、栃木県においても年々人口減少し、高齢化は確実に進んでおり、定員充足は厳しく、リスキリングやリカレント教育も模索しているところではあります。

<教職員について>

野中郁次郎氏は著書“失敗の本質”で東京大学名誉教授の村上陽一郎は『あたためて教養とは』



のなかで教養教育の重要性を説いて、教養とは「自分という人間をきちんと造り上げること」であると述べていると記載されています。前述のような教育を計画的・継続的に実施するためには優秀な教職員の確保、質の高い授業・実習が欠かせません。世代交代の時期も迫ってきており、頭が痛い問題です。論語には子曰（いわく）、「吾十有五にして学に志す。三十にして立つ。四十にして惑わず。五十にして天命を知る。六十にして耳順（したが）う。七十にして心の欲する所に従い、矩（のり）を踰（こ）えず。」とあります。

このような社会変化の激しい中で今後を見据え、明確な中長期的な方針を打ち出せば良いのですが、本校を取り巻く現状と理想とのギャップが大きく、未だに不惑とはなれず、右往左往しています。とどめを刺すように国内最大規模の豚熱が発生しました。まさに泣き面に蜂ですが、一方、Microsoft 社の Teams が導入されオンライン授業対応が一気に加速するというメリットも生まれています。

また、このような状況ですが、10月にいちご一会とちぎ国体、全国障害者スポーツ大会の開催が予定されています。

なんともまとまりのない文章となってしまいました。申し訳ございません。

まだまだ未熟者ですので、今後とも何とぞ行歯会の皆さまのご支援ご協力を賜れば幸いです。よろしくお願い申し上げます。

○行歯会だより第173号（令和4年7月号）記載内容に係るお詫びと訂正

令和4年7月20日発行の「行歯会だより第173号（令和4年7月号）」の記事『2 行歯会「災害時歯科保健医療体制推進に向けたアンケート」結果報告』において、御寄稿いただいた中久木康一先生の御所属名に誤りがございました。

記

【誤】東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科災害救急医学分野 非常勤講師 中久木 康一
（賛助会員）

【正】東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科救急災害医学分野 非常勤講師 中久木 康一
（賛助会員）

以上のように訂正し、ここに謹んでお詫び申し上げます。

行歯会だより編集担当

「歯っとサイト」掲載コンテンツ募集！

「歯っとサイト（歯科口腔保健の情報提供サイト）」

<http://www.niph.go.jp/soshiki/koku/oralhealth/index.html> では、

掲載コンテンツを募集しています。

掲載を希望される場合は、「行歯会だより」の配信メールに記載されている編集担当宛にご連絡ください。

♪ 編集後記 ♪

お子さんの歯科検診で来られたお母様から、「子どもの頃、歯医者さんに行く友達が羨ましくて、むし歯を作ろうと頑張ったけど叶わず、大人になってからやっと小さなむし歯が出来て治療を経験できました！痛くなくても歯科受診できることを知らなかったんですよ〜。」というエピソードを聞き、むし歯治療に憧れる人がいることがとても新鮮でした。(N)

近くの畑に一面のひまわり畑が出現し、意気揚々と見に行ってきました。25,000本のひまわりが、一斉に同じ方向に顔を向けて咲いていて圧巻でした。そんな中に数本だけ、みんなと違った方向を向いて咲いているひまわりがあり、なんだかほほえましかったです。(H)